

# 直動精密減圧弁 / モジュールタイプ

# ARP3000 Series

設定感度 **0.001MPa**

ミストセパレータにモジュールが可能

(AFM3000 + ARP3000)  
(AFD3000 + ARP3000)

直動式・ブリードタイプ  
(リリース機能付)

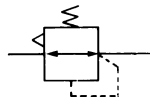


ARP3000-02



ARP3000-02BG

JIS記号



## 標準仕様

型式	ARP3000
接続口径	1/4
使用流体	空気
保証耐圧力	1.2MPa
最高使用圧力	0.8MPa
設定圧力範囲	0.005 ~ 0.3MPa
設定感度	0.001MPa
繰り返し性	± 0.003MPa
注1) 空気消費量	4 ~ 6ℓ/min( ANR ㄹ 0.3MPa設定時 )
圧力計接続口径	1/8
周囲温度および使用流体温度	- 5 ~ 60 ( 凍結なきこと )
構造	ブリードタイプ
質量 (kg)	0.42

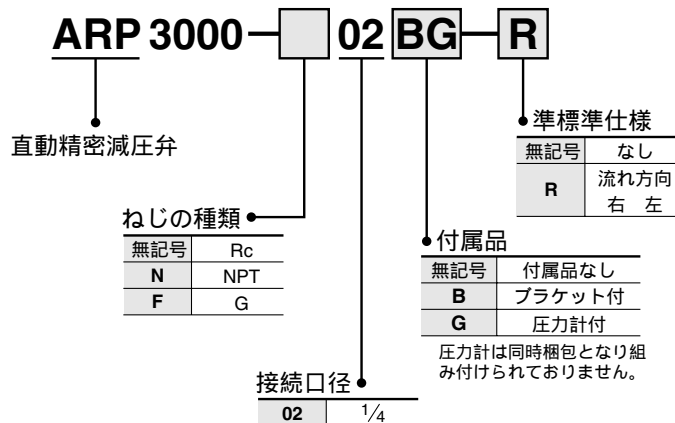
注1) 空気消費量は設定圧力によって変わります。

## 付属品(オプション)・部品番号

名称	部品番号
ブラケット	B320
注1) 圧力計	0.4MPa G36-4-□01

注1) 圧力計品番の□は接続ねじの種類を表わします。Rcは無記号、NPTはNを記入してください。  
・NPTの圧力計の供給については別途問い合わせください。  
注2) 圧力計を取り付ける際は締め過ぎないようにご注意ください。破損の原因になります。  
(推奨締付トルク: 7 ~ 9N・m)  
シール剤はシールテープを御使用ください。

## 型式表示方法



モジュラ  
F.R.L

AV

AU

AF

AR

IR

VEX

AMR

ITV

VBA

VE

VY

G

PPA

AL

# ARP3000

## 構造図

**JIS記号**

**構成部品**

番号	部品名	材質	備考
①	ボディ	アルミダイカスト	プラチナシルバー塗装
②	ボンネット	アルミダイカスト	黒色塗装

**交換部品**

番号	部品名	材質	部品番号
③	ダイヤフラムアセンブリ	耐候性NBR	1315510A
④	バルブアセンブリ	黄銅・HNBR	1315506A
⑤	バルブスプリング	ステンレス鋼	1315516-2
⑥	バルブミニパッキン	NBR	MYN-5
⑦	Oリング	NBR	JISB2401P6
⑧	Oリング	NBR	131545
⑨	ハンドル	ポリアセタール	1315513
⑩	セットナット	亜鉛ダイカスト	131532

## 外形寸法図

パネル取付穴 板厚 Max 3.5

圧力計 (オプション)

圧力計接続口

接続口径

34.5

114 (Max. 117)

53

53

6.5

8

40

53

セットナット: 二面巾50

M42×1.5 (ネジサイズ)

30.5

44

フラケット (オプション)

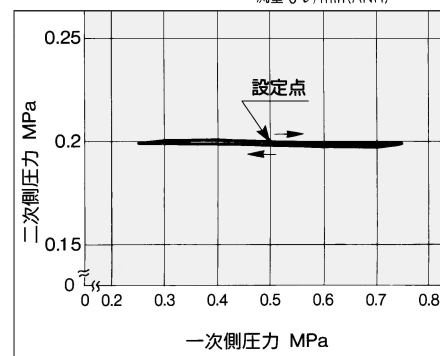
2.3

61.5

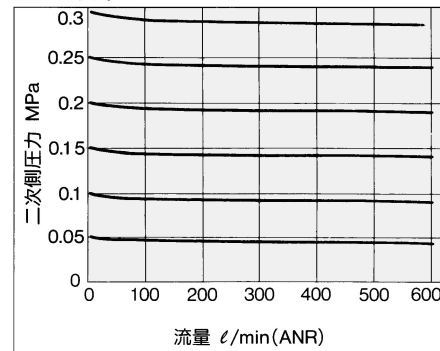
41

圧力計付の場合、圧力計は同梱出荷されます。

## 圧力特性



## 流量特性



## △注意

- 1) 圧力調整は、ロックを解除して行い調整後はロックしてください。  
手順を誤りますとハンドル破損および二次側圧力が変動する原因になります。  
① 調圧ハンドルを引張るとロック解除されます。(調圧ハンドルの下側の『オレンジ色のライン』で目視確認ができます。)  
調圧ハンドルを押しますとロックされます。もしロックされにくい時は左右に少し回してから押してください。(『オレンジ色のライン』が見えなくなります。)



- ② バルブガイド(ハンドルの反対側)は地面より60mm離して取付けてください。  
保守点検が容易になります。
- ③ ブリード孔からのエア放出は異常ではありません。  
直動精密減圧弁の構造に必要な消費です。  
電磁弁とアクチュエータの間で使用される場合は、別途御相談ください。  
本体はセットナットでしっかり締め付け固定下さい。  
セットナット推奨締付トルク: 22.5 ± 4.5 N・m

## △製品個別注意事項

ご使用前に必ずお読みください。  
安全上のご注意、掲載製品/共通注意事項については、前付P.34・35、各シリーズごとの共通注意事項については、P.2～5をご確認ください。

### 選定

## △注意

- ① 二次側圧力の設定範囲は一次側圧力の90%以下で行ってください。  
圧力降下が大きくなる場合があります。

### 空気源

## △警告

- ① 一次側にミストセパレータを使用してください。  
ドレンやゴミ等がふくまれているとブリード孔がつまり作動不良の原因になります。  
一次側にルブリケータを使用しますと、ブリード孔がつまり作動不良の原因となりますので使用しないでください。